

2023年3月31日(金)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

オリザ油化(株)、「ルテイン（フリー体）」の機能性表示食品受理！！ －視機能のサポート、眼の疲労感の軽減、一時的な精神ストレス・睡眠の質 を改善、認知機能（判断力・注意力）の維持－

オリザ油化株式会社（愛知県一宮市）は、2002年にアイケア素材としてルテインエステルを80%以上に規格した「ルテイン-P80A」を上市しており、過去20年間で国内外の数多くのブランドメーカーに採用実績を誇る製品である。「ルテイン-P80A」は高濃度品のため、製品単価も高価である。そこで2022年から、低価格設定のフリー体ルテイン20%以上、ゼアキサンチン4%以上を規格したオイルタイプの「ルテイン-20FA」を上市している。

ルテインは、眼の網膜の中央に位置する黄斑に特異的に蓄積されており、ブルーライトを吸収する作用や強い抗酸化作用による視機能の改善作用が知られている。

この度、同社では機能性関与成分をルテイン及びゼアキサンチンとして、視機能の改善、精神ストレスや睡眠の質を高めること、認知機能の維持に関する研究レビューをまとめ、同成分を配合した機能性表示食品の届出が受理された（届出番号：H820、H1131、H1175）ことを発表した。上記機能性をすべて盛り込んだ、表示しようとする機能性を記載した届出（届出番号：H1175）が受理されるのは原料メーカーとして初である。

届出が受理された製品は3製品あり、機能性関与成分のルテイン10mg、ゼアキサンチン2mg配合品で、表示しようとする機能性として、「本品には、ルテイン・ゼアキサンチンが含まれます。ルテイン・ゼアキサンチンには、目の黄斑部の色素量を上昇させる働きがあり、紫外線やブルーライトなどの光ストレスからの保護や、コントラスト感度（色の濃淡を識別し、ぼやけ、かすみを緩和する視機能）やグレア回復（まぶしさから回復する視機能）を改善する機能が報告されています。また、年齢とともに低下する認知機能の一部である判断力（変化する状況に応じて適切に対処したり、推論したりする能力）、注意力（一つのことに集中したり、複数の物事に注意を向けられる能力）を維持することが報告されています。」（届出番号：H820）としている。

さらにルテイン20mg、ゼアキサンチン4.08mg配合品で、表示しようとする機能性として、「本品にはルテイン、ゼアキサンチンが含まれます。ルテイン、ゼアキサンチンには、眼の黄斑色素量を増加、維持する働きがあり、コントラスト感度（色の濃淡を識別し、ぼやけ、かすみを改善して、ものをくっきりと見る力）、グレア回復（まぶしさから回復する力）のサポートをし、ブルーライト（テレビ、パソコンやスマートフォン）などの光刺激、眼の疲労感の軽減に役立つことが報告されています。また、一時的な精神ストレスを軽減し、睡眠の質を高めることが報告されています。」（届出番号：H1131）としている。

ルテイン 20 mg、ゼアキサンチン 4.08 mg の配合においては、上記 H820 と H1131 を合わせた表示しようとする機能性の文言である H1175 が受理されている。

科学的根拠は、機能性関与成分であるルテイン、ゼアキサンチンの経口摂取における①眼の視覚機能増進、②一時的な精神ストレスと眼の疲労感を軽減する機能及び睡眠の質を高める機能性、③認知機能に関してそれぞれシステマティックレビュー(SR)を行った結果である。SRに採用したRCTの臨床論文によると、①のSRでは1日あたりルテイン 10~20 mg、ゼアキサンチン 2~4 mg を継続摂取することにより、MPOD(黄斑色素密度)の改善、光ストレスの低減及びグレア感度の改善が示されている。②のSRでは1日あたりルテイン 19.92 mg、ゼアキサンチン 4.08 mg を継続摂取することにより、一時的な精神ストレスや眼の疲労感、睡眠の質の改善が示されている。最後に③のSRでは1日あたりルテイン 10 mg、ゼアキサンチン 2 mg を継続摂取することにより、判断力(変化する状況に応じて適切に対処したり、推論したりする能力)、注意力(一つのことに集中したり、複数の物事に注意を向けられる能力)を維持する効果が示されている。

「ルテイン-20FA」は、視機能と抗ストレス及び睡眠の改善、認知機能の維持と一つの素材で幅広い効果を訴求できる機能性表示食品対応素材として紹介が可能である。

今回の届出受理により、同社では活力感の低下軽減を謳うパッションフラワー由来フラボノイドを機能性関与成分とするパッションフラワーエキスをはじめとする 12 素材 19 ヘルスクレームの機能性表示食品対応素材の1つとして提供可能となった。オリザ油化では、今回の届出受理を機に、視機能のサポートや抗ストレス・睡眠の質改善、認知機能を訴求した機能性表示食品に興味ある潜在顧客への積極的な提案を行っていく予定である。

<補足>

3 製品の届出番号と表示しようとする機能性

・H820

本品には、ルテイン・ゼアキサンチンが含まれます。ルテイン・ゼアキサンチンには、目の黄斑部の色素量を上昇させる働きがあり、紫外線やブルーライトなどの光ストレスからの保護や、コントラスト感度(色の濃淡を識別し、ぼやけ、かすみを緩和する視機能)やグレア回復(まぶしさから回復する視機能)を改善する機能が報告されています。また、年齢とともに低下する認知機能の一部である判断力(変化する状況に応じて適切に対処したり、推論したりする能力)、注意力(一つのことに集中したり、複数の物事に注意を向けられる能力)を維持することが報告されています。

・H1131

本品にはルテイン、ゼアキサンチンが含まれます。ルテイン、ゼアキサンチンには、眼の黄斑色素量を増加、維持する働きがあり、コントラスト感度(色の濃淡を識別し、ぼやけ、かすみを改善して、ものをくっきりと見る力)、グレア回復(まぶしさから回復する力)のサポートをし、ブルーライト(テレビ、パソコンやスマートフォン)などの光刺激、眼の疲労感の軽減に役立つことが報告されています。また、一時的な精神ストレスを軽減し、睡眠の質を高めることが報告されています。

・H1175

本品にはルテイン、ゼアキサンチンが含まれます。ルテイン、ゼアキサンチンには、眼の黄斑色素量を増加、維持する働きがあり、コントラスト感度(色の濃淡を識別し、ぼやけ、かすみを改善して、ものをくっきりと見る力)、グレア回復(まぶしさから回復する力)のサポートをし、ブルーライト(テレビ、パソコンやスマートフォン)などの光刺激、眼の疲労感の軽減に役立つことが報告されています。また、一時的な精神ストレスを軽減し、睡眠の質を高めることが報告されています。さらに、年齢とともに低下する認知機能の一部である判断力(変化する状況に応じて適切に対処したり、推論したりする能力)、注意力(一つのこと集中したり、複数の物事に注意を向けられる能力)を維持することが報告されています。